

各 位

2024年7月19日
株式会社リットーミュージック

ベース・マガジン 2024年8月号は、日本を代表するベーシスト／プロデューサー・亀田誠治を大フィーチャー。50ページを超える総力特集のほか、ベース・スコアを収録した小冊子も付録



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ベース・マガジン 2024年8月号』を、2024年7月19日に発売します。

■書誌情報

書名：ベース・マガジン 2024年8月号

表紙：亀田誠治

定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）

発売：2024年7月19日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3124118004/>

■完全保存版総力特集

亀田誠治～亀の60年

椎名林檎率いる東京事変のバンド・メンバーであり、さまざまなアーティストのベーシストとしても活躍。また同時に、日本を代表するプロデューサー／アレンジャー／作詞作曲家である亀田誠治。そんな日本の音楽史に名を刻む彼が、今年で還暦を迎えました。この60歳というひとつの節目を迎えた亀田誠治を、ベース・マガジンでは改めてフィーチャー。表紙巻頭企画として、50ページを超えるボリュームで特集を掲載しています。

これまでの人生を振り返るロング・インタビューでは、楽器の原体験から現在までを振り返ってもらったほか、ベースや音楽、仕事に対する考えや哲学も語ってくれています。また、自身が影響を受けた作品60枚を紹介するページでは、彼の音楽的ルーツを知ることができるでしょう。そのほか、愛用機材紹介ページでは、自身の楽器に対する思いを熱く語ってくれています。

そのほか King Gnu のベーシストである新井和輝との対談や、親交のあるミュージシャンが語る“亀田誠治の魅力”など、さまざまなコンテンツで構成。圧倒的な熱量で亀田誠治を深掘りしています。

また本誌には特別小冊子が付録。この小冊子には東京事変や椎名林檎など、亀田誠治のプレイによる楽曲のベース・スコアが6曲分掲載されているほか、彼の“ベース参加作品リスト”も巻末に収録されています。

ベース・マガジン史上、最大ボリュームの“亀田誠治特集号”。まさに完全保存版と言える内容です。

CONTENTS

Part.1 亀の歩み～幼少期から現在までを辿るロング・インタビュー

Part.2 亀の金言～亀田誠治がベーシストに贈る6つの言葉

Part.3 60枚で辿る亀田の音楽遍歴

Part.4 亀田誠治を形成する名機材6選

Part.5 亀の語らい～亀田がベーシストと語り合う特別ベース談義／亀田誠治×新井和輝 (King Gnu)

Part.6 亀の魅力～親交のあるミュージシャンが語る亀田誠治の魅力とすごさ

特別付録小冊子 亀田誠治ベース・スコア集

「ここでキスして。」椎名林檎／「本能」椎名林檎／「キラーチューン」東京事変／「永遠の不在証明」東京事変／「POP STAR」平井堅／「やさしさを溢れるように」JUJU／亀田誠治・ベース参加作品リスト



▲50 ページを超えるボリュームで、亀田誠治の60年に迫る。



▲全6章で構成されたロング・インタビュー。



Part 2

亀田の金言
～亀田誠治がベースリストに贈る6つの言葉

ここでは亀田誠治がベースリストに贈る6つの言葉を紹介します。この言葉がベースリストの心になれれば、亀田誠治の音楽を聴くときにもっと楽しむことができます。

一 **自分のビートを持て!**
ベースリストは、自分だけのビートを持てなければなりません。それは、自分だけの音楽を作るということです。

二 **ミュージシャンだって社会人**
ミュージシャンは、社会人としての責任も果たさなければなりません。それは、自分だけの音楽を作るだけでなく、社会に貢献することです。

三 **合奏は楽し**
合奏は、一人で演奏するよりも楽しいです。それは、自分だけの音楽を作るだけでなく、他のミュージシャンと一緒に演奏することです。

四 **答えは音楽に訊け!**
音楽は、自分だけの答えを見つけることができます。それは、自分だけの音楽を作るということです。

五 **ベースはひとりだど何にもできない。でもベースはみんなを支えることができる**
ベースは、一人で演奏するだけでは、何にもできません。でも、ベースはみんなを支えることができます。

六 **どんなときも自分を投入する**
どんなときも、自分を投入してください。それは、自分だけの音楽を作るということです。

▲亀田がベースリストに贈る金言の数々。

Part 3

60枚で辿る 亀田の音楽遍歴

ここでは亀田誠治の60枚のアルバムや楽曲から厳選して、ベストアルバム、そしてプロデューサーとしての偉業を支えた楽曲、心に響いた楽曲の数々——亀田誠治の音楽遍歴を60枚のアルバムや楽曲から厳選して紹介する。

Lifetime Soundtrack: Kameida's 60 Essential Records

12 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

13 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

14 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

15 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

16 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

17 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

18 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

19 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

20 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

21 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

22 **スティーヴン・ジャブロン**
『The Best of Steve Jabbon Christmas』(2004)
と女流歌人の音楽的縁が深いです

23 **スティーヴン・ジャブロン**
『100 Years of Christmas』(2004)
100年、200年と続く「楽典」の精神

▲亀田が音楽的影響を受けた60枚の作品。

Part 4 **亀田誠治を形成する名機材6選**

亀田誠治のベースト人生を彩った数々の名機材たち。そのひとつひとつを紹介する。ここでは亀田のベースト人生の中で最も大切にしている機材を6種紹介する。それぞれに愛を注ぎ込まれ、そして「愛」を帯びていった。

Fender 1966 Jazz Bass

#1

亀田の音楽人生に寄り添い続けたベース

ALCUT

1948年製のFenderジャズベースは、ローブロッグのボディとピックアップの組み合わせが特徴的なベース。1966年製のFenderジャズベースは、当時のFenderが採用していた「バネ」が有名で、その音は非常に柔らかい。亀田のベースト人生の中で最も大切にしている機材の一つ。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

52 BM 2024 AUG

例えるなら、僕のキャリアを作った“人生の一本”。

このベースト人生の中で、亀田は数々の機材と出逢ってきた。その中でも、最も大切にしている機材の一つが、Fenderのジャズベースだ。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。亀田は、このベースを「人生の一本」と例えている。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

Ecton

亀田のベースト人生の中で、数々の機材と出逢ってきた。その中でも、最も大切にしている機材の一つが、Ectonのベースだ。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

53 BM 2024 MAY

▲亀田が絶大な信頼を寄せる6種の楽器を紹介。

Part 5 **亀の語らい**

～亀田がベースと語り合う特別ベース談義

亀田誠治

新井和輝
(King Gnu)

6つのテーマで語る「トーク・セッション！」

亀田と新井の対談は、亀田のベースト人生と新井の音楽人生について、それぞれの視点から語り合う。亀田は、ベースを「人生の一本」と例えている。新井は、ベースを「人生の一本」と例えている。亀田は、ベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。新井は、ベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

54 BM 2024 AUG

亀田のベースト人生

亀田のベースト人生の中で、数々の機材と出逢ってきた。その中でも、最も大切にしている機材の一つが、Fenderのジャズベースだ。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

亀田のベースト人生

亀田のベースト人生の中で、数々の機材と出逢ってきた。その中でも、最も大切にしている機材の一つが、Ectonのベースだ。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。亀田は、このベースを愛用し、数々のライブやレコーディングで活躍している。

ベースで曲の印象を決定づける

それは僕のひとつのやり方

55 BM 2024 AUG

▲King Gnu の新井和輝とのスペシャル対談も。

亀田 誠治

亀田さんの頭のなかの音楽アーカイブは本当に豊かで、仕事を一緒にさせてもらうたびにそのアイデアやベースの音色に感服してしまいます。音と言葉に寄り添ったり、暴れたり。人を癒させない柔らかい心の持ち主。そしてなんとも面白い、大いに刺激になります。またよろしく願います。

——稲葉浩志 ①②

その①

ヴォーカリスト

ヴォーカリストから見る亀田誠治の魅力とは？

わたしが思う亀田誠治は、少年のような純真な心と極めて冷徹な頭脳の極端な二面性を持つ男です。強いリーダーシップと氣遣いでレコーディングを引っ張っていき、タフで非常に頼りになる男です。プレイヤーとしての矜持は言うまでもなく、誠心誠意曲の完成を推進していく、ザ・プロデューサーと言ってもいい尊敬する先輩ミュージシャンです。

——宮本浩次 エッセイ①②

濃で厚。 そんな亀田さんのベースはエッジを効かせながらとても男性ホルモンが多く、歌手を酔わせます。私はそんな亀田ベースにずっとしびれているのです。

——大塚 愛



音楽を聴いて見渡して必要な抜き差しを見極めたり、人や楽器同士のコミュニケーションを円滑にしつつ、それらをさりげなく向かうべき場所に誘導したり、ペーシストとプロデューサーというふたつの仕事は似ているところが多くあります。それらを兼任していた亀田さんの選さのひとは、「音楽/音楽家への好奇心の旺盛さ」だと思います。素晴らしい素材を見つけたときには、それらをどう配置すれば一番輝くのか考えずにはいられない、ということがお人柄からも作品からも伝わってきます。

——ネタニタツヤ

選解を選えられたとのこと、誠にありがとうございます。亀田誠治さんとは、松本隆さんのトリビュート・アルバムに参加させていただいた際に、松田聖子さんの「SWEET MEMORIES」で一緒にさせていただきました。亀田さんのアレンジによって新たに結ばれた「SWEET MEMORIES」を耳にしたその瞬間、時空をも飛び越えられるような、そんな感覚になりました。私自身まだ出会ってくださったと感じています。その後も話させていただく度に、音楽への尽きることない情熱と探究心を深く感じ、尊敬の念は増していっています。また一緒にできる日が来ることを心待ちにしております。

——亀田リョウ

亀田さんはとても大きな、大きい波動を放つ方だと感じています。唯一無二の分厚いベースプレイはもちろんのこと、アーティストに宿っている感性を自分ごとくように解釈し、解き放つてくれるようとする御心意気には頭が上がりません。亀田さんの放出する波動と一緒に音楽を紡ぎあげた日々は宝物の経験です。

——アイナジエント



▲親交のあるミュージシャンが語る“亀田の魅力”。

BASS

MAGAZINE

付録 小冊子 亀田誠治のベース名演のスコアを6曲掲載!

亀田誠治

ベース・スコア集

巻末には「亀田誠治・ベース参加作品リスト」を収録!

- 「ここでキスして。」 椎名林檎
- 「本誌」 椎名林檎
- 「キラージューン」 東京事変
- 「永遠の不在証明」 東京事変
- 「POP STAR」 平井堅
- 「やさしさを増えるように」 JUJU



▲付録小冊子では亀田誠治のベース・スコアを収録。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp